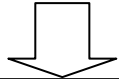


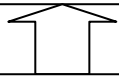
これまでの研究より
生きたつながり

自分も他者も互いに高め合う固定化されてないかかわりを自ら求め、形成していくことができる。



双極の窮究と調和

それぞれの極「双極」を徹底的に追究「窮究」してよりよい選択、または、新しい方法を考え出す「調和」を図る



社会情勢

国際化、広域化、複雑化している社会
・子どもの減少による学校の統廃合
・都市と地方の格差問題
・ギリシャ経済・パレスチナ問題
・原発、米軍基地移設、集団的自衛権など

「真正な学び」の場の実現

- ・子どもの興味・関心や問題意識に応じた課題
- ・生活場面や地域に根ざした活動
- ・生の体験を重視する
- ・自分の課題をとことん突き詰める活動
- ・多様な価値観の交流する場を組織する
- ・成員の共同によって新たな価値を見出す

学校教育目標 たくましく現代に生きる子どもの育成

北条の教育史

- | | |
|---|--|
| <p>I 生活教育 (S 2 1 頃～)
コアカリキュラムの作成</p> <p>II 教育の近代化 (S 3 5 頃～)
学習指導の個別化・集団化
教育のシステム化</p> <p>III 学校の人間化 (S 4 8 頃～)
創造的市民の育成 学校の人間化
自己学習力の育成</p> | <p>IV 子ども文化の創造 (H 元 頃～)
新しい生活教育 自己実現と共生</p> <p>V よりよいコミュニティを求めて (H 1 4 頃～)
生きることによる有能な子
生きたつながりの育成</p> <p>VI 双極の窮究と調和 (H 2 4 頃～)
「創時力」の育成</p> |
|---|--|



研究テーマ

創時力の育成

未来は待つものではなく、創造するものである

めざす子ども像

未来の当事者意識をもち、自分・自分たちが思い描く未来を創ろうとすることができる子ども

断行力

- 失敗を恐れず強い意志で前に踏み出す力

創時力の核をなす力

受容的批判的思考力

- 物事を受容的にみたり、批判的にみたりする力

創造的発想力

- 様々な切り口、着眼点からセレクトし、組み合わせ、オリジナルの発想をつくる力

① 未来につながる課題の設定

- ・現代社会が抱える問題
- ・よりよい社会にするには
- ・自分が描く未来とは

② ダイナミックな授業展開

- ・豊かな発想で授業展開
- ・学習の範囲を広げて
- ・空間、時間、創造を超える展開

③ 議論・話し合い活動の充実

- ・人・もの・こととつながる学習
- ・子ども同士の関わり合い高め合い
- ・意見交換による思考の深化

創時力の育成のための

学習の実現